

Nihonkai shinkin
Disclosure Report

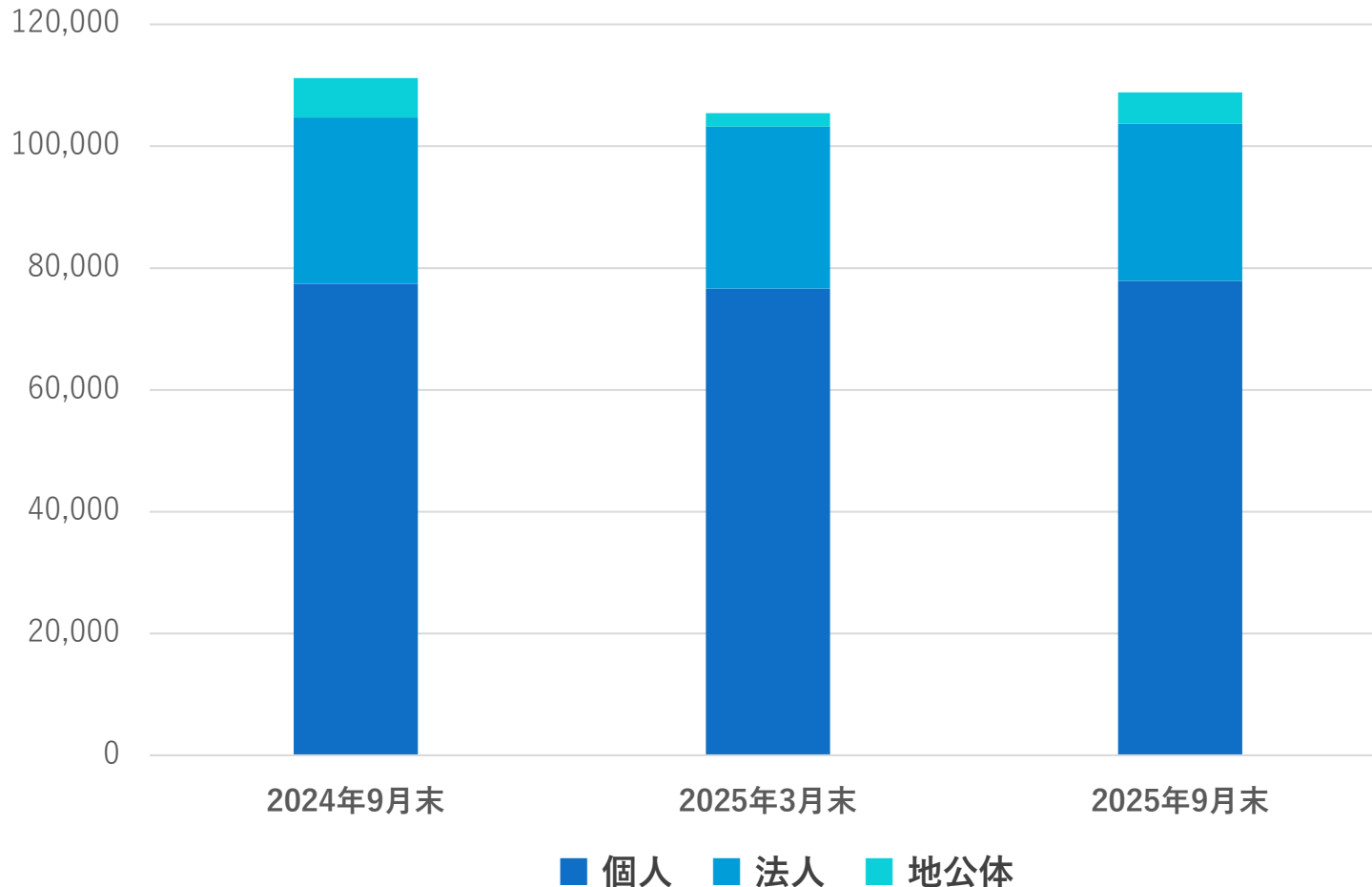
日本海信用金庫 半期開示レポート

2025年9月期

本資料に掲載する計数は監査法人の監査を受けておりません。
掲載計数は原則として単位未満を切り捨てております。

直近1年の動向と 上期の概況

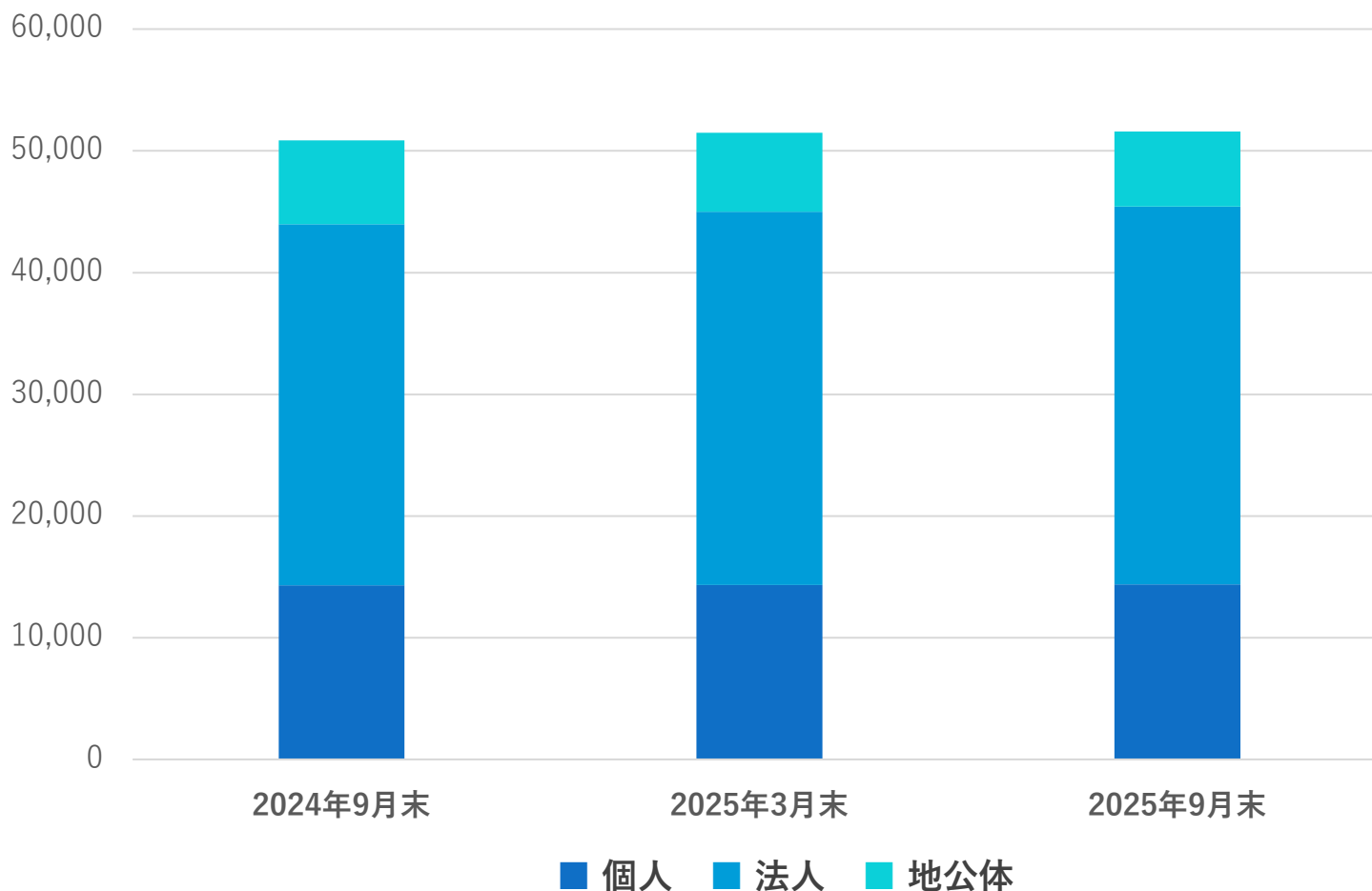
物価高騰を背景とした預金減や他行のキャンペーン金利商品取扱い等により、近年は預金積金の減少傾向が続いていましたが、当庫も上期に特別金利定期預金キャンペーンを実施したことで、個人残高は前年同月比で増加となりました。



	24年9月末	25年3月末	25年9月末	前年同月比
個人	77,442	76,621	77,890	448
法人	27,293	26,628	25,857	▲1,436
地公体	6,460	2,165	5,116	▲1,344
合計	111,197	105,416	108,863	▲2,334

直近1年の動向と 上期の概況

お客様の課題解決に向けて本業支援業務に注力し、資金ニーズを開拓しながら営業活動を展開した結果、残高は緩やかに増加傾向となっています。引き続き、お客様に寄り添った支援活動に注力してまいります。



24年9月末 25年3月末 25年9月末 前年同月比

個人	14,304	14,342	14,377	73
法人	29,674	30,664	31,039	1,365
地公体	6,894	6,483	6,185	▲709
合計	50,873	51,491	51,601	728

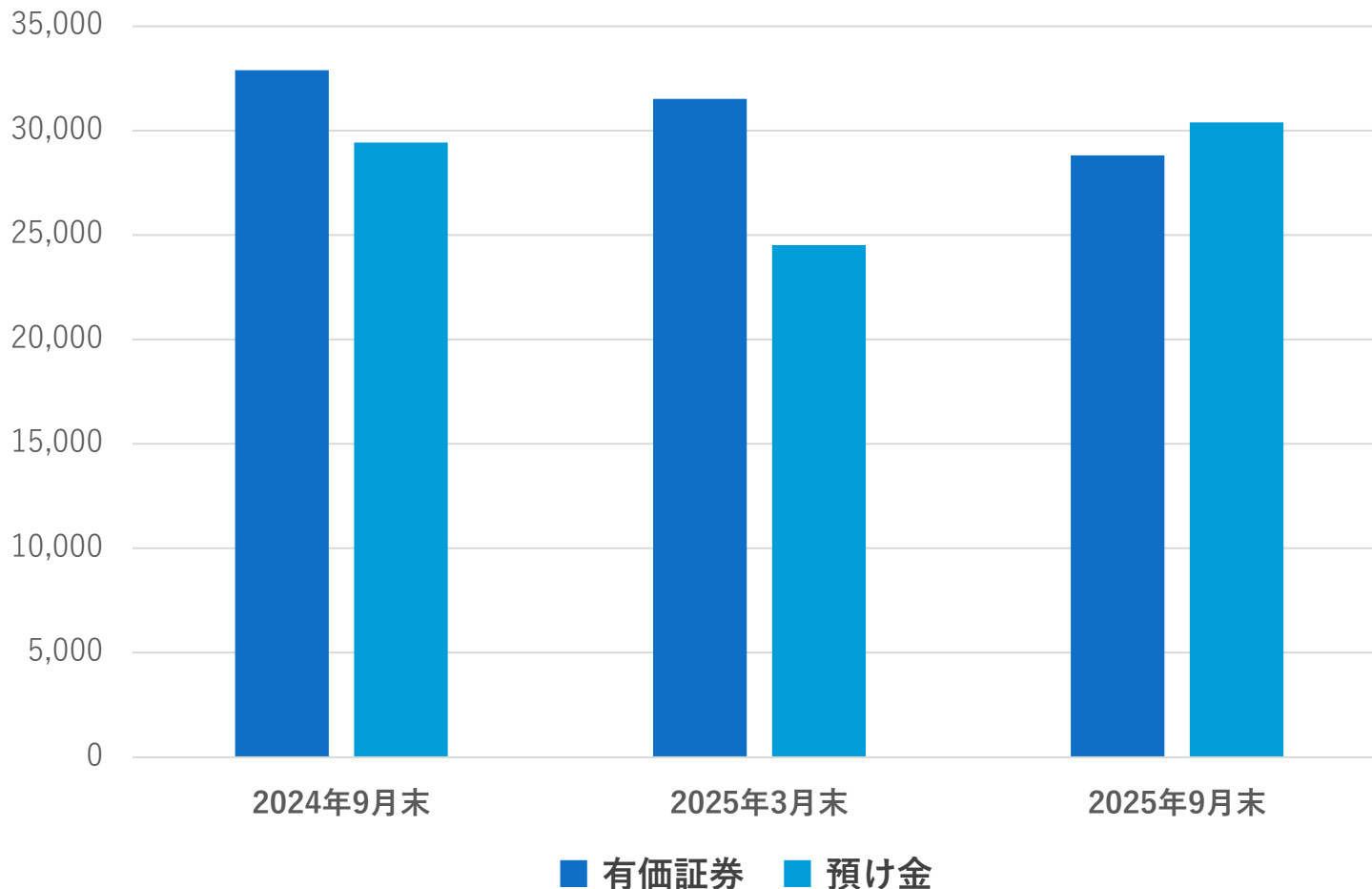
有価証券および預け金の推移 (単位: 百万円)

主要勘定の状況

4

直近1年の動向と 上期の概況

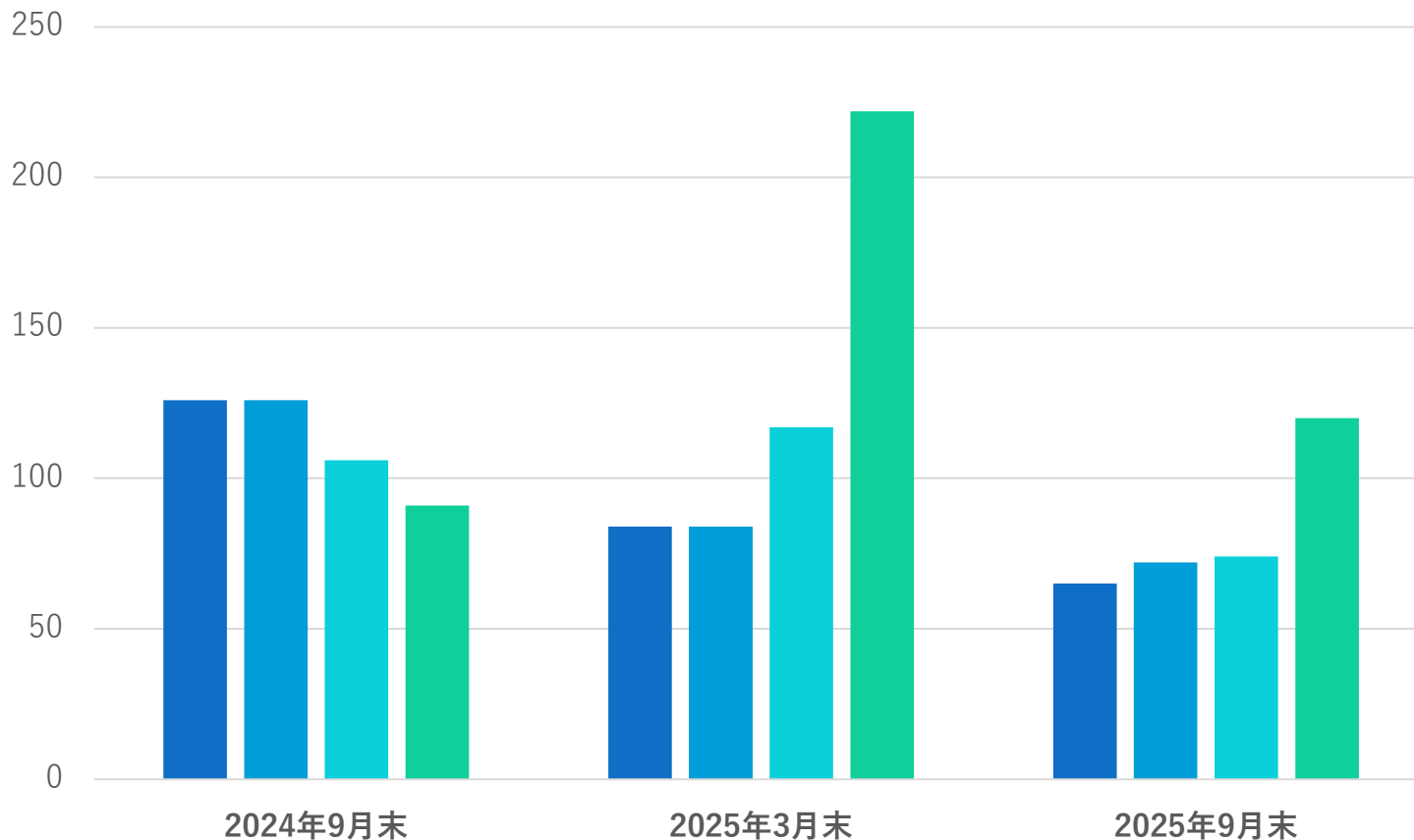
市場金利の上昇に伴う時価の下落や運用方針の見直しによる再投資の見送り等により有価証券残高は大幅に減少しました。一方で預け金については、有価証券の売却および償還分の一部を預け金で再運用したこともあり、残高は増加しました。



	24年9月末	25年3月末	25年9月末	前年同月比
有価証券	32,898	31,515	28,811	▲4,087
預け金	29,424	24,521	30,397	973
余資合計	62,322	56,036	59,208	▲3,114

直近1年の動向と 上期の概況

本業での収益力を表す「コア業務純益（投信解約損益除く）」については、本業での収益力改善に伴い前年同月比で増加しています。近年、運用ポートフォリオの変動比率を高めるなど、安定した収益確保に向けた体制構築に取り組んでいます。

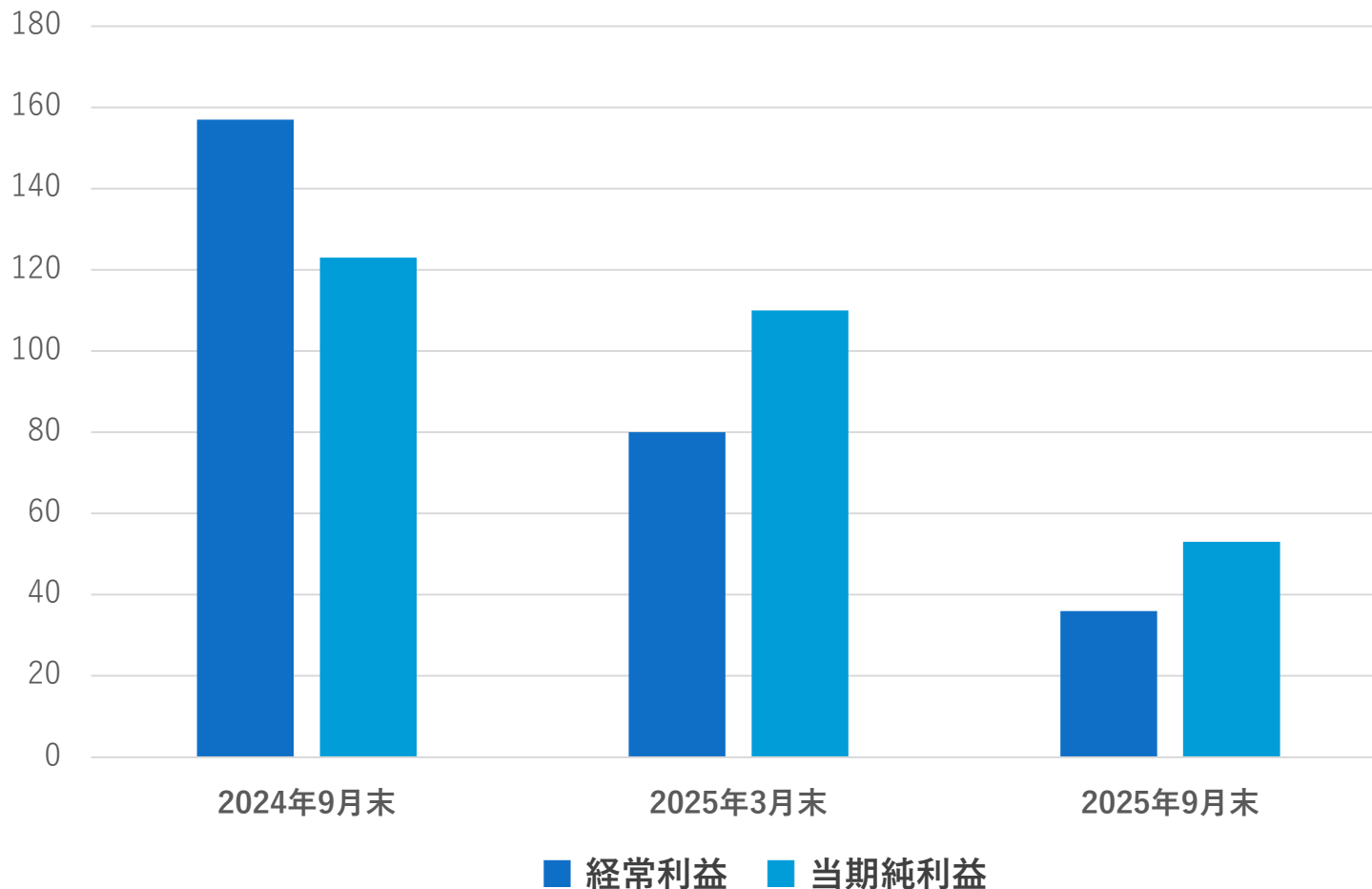


	24年9月末	25年3月末	25年9月末	前年同月比
業務純益	126	84	65	▲61
実質業務純益	126	84	72	▲54
コア業務純益	106	117	74	▲32
投信解約損益除く	91	222	120	29

■ 業務純益 ■ 実質業務純益 ■ コア業務純益 ■ コア業務純益（投信解約損益除く）

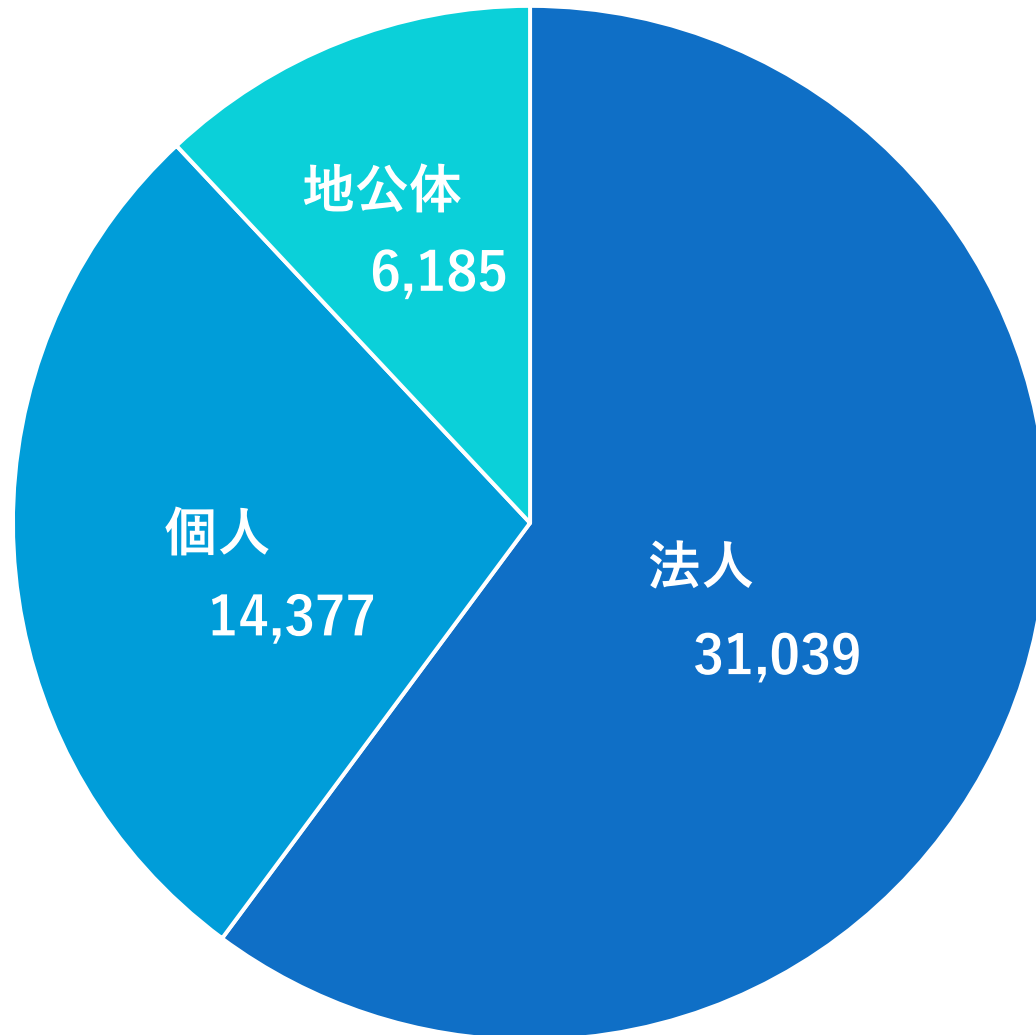
直近1年の動向と 上期の概況

市場金利の上昇に伴う含み損の増加に対応するため、当庫ではポートフォリオのメンテナンスプランを策定し每期実行しています。今年は上期に一部の有価証券について売却処理を実施したことで利益の下押し要因となりました。

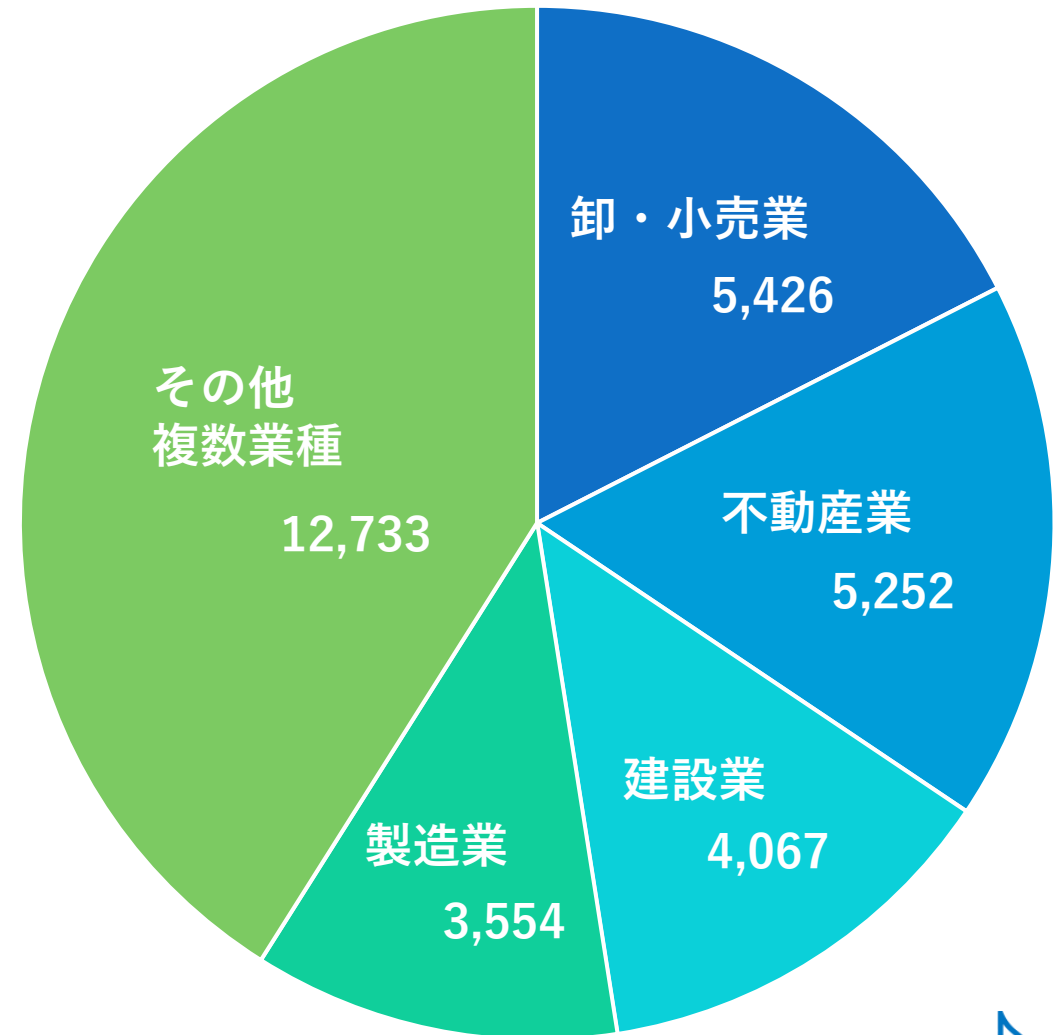


	24年9月末	25年3月末	25年9月末	前年同月比
経常利益	157	80	36	▲121
当期純利益	123	110	53	▲70

人格別構成



業種別構成



債権区分	残高
不良債権 (A)	2,323
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	701
危険債権	1,607
要管理債権	14
正常先	49,831
合計 (B)	52,155
不良債権比率 (A) / (B)	4.45%
保全額 (C)	2,225
担保・保証等 (D)	1,631
貸倒引当金 (F)	594
保全率 (C) / (A)	95.79%
引当率 (F) / (A - D)	85.89%

● 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

● 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

● 要管理債権

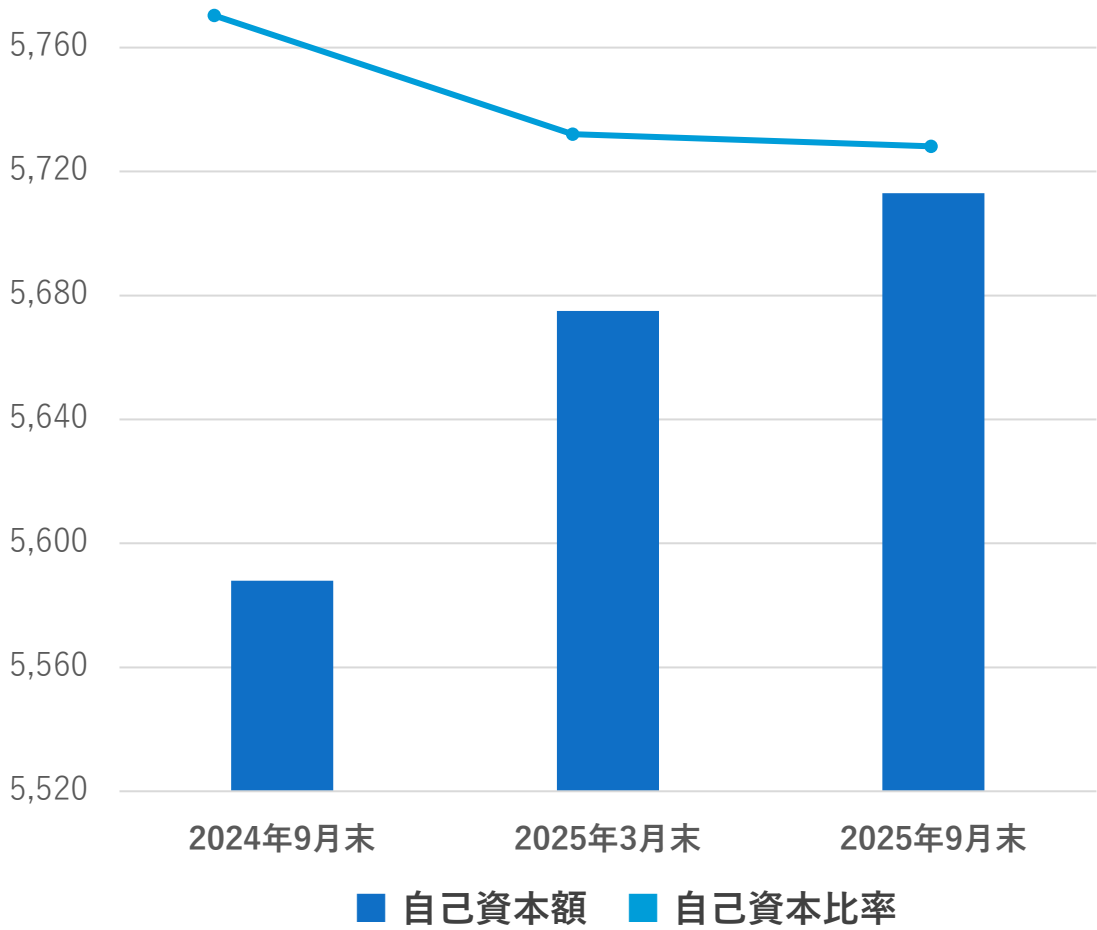
「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

※ 「貸倒引当金(F)」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

※ 金融再生法開示債権額は、情報開示としての有用性を高め、開示基準の透明性を向上させるとの観点から、貸出金に加え、債務保証見返、未収利息、仮払金等の自己査定による資産の査定結果からとらえたものとなっております。

直近1年の動向と
上期の概況

自己資本額については着実な利益計上により増加傾向にあります。一方、バーゼルⅢ最終化の完全適用に伴い計算方法が一部変更となった結果、分母となるリスクアセット額が増加し、自己資本比率は低下しました。



		2024年 9月末	2025年 3月末	2025年 9月末	前年 同月比
自己資本額	コア資本に係る基礎項目	5,626	5,722	5,741	115
	コア資本に係る調整項目（▲）	38	47	28	▲10
	計（A）	5,588	5,675	5,713	125
リスク アセット	オン・バランス項目	43,965	46,143	46,607	2,642
	オフ・バランス取引等項目	513	1,056	1,055	542
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	2,490	2,153	2,153	▲337
	リスクアセット等計（B）	46,969	49,352	49,815	2,846
自己資本 比率	（A） / （B） × 100（％）	11.89	11.50	11.46	▲0.43

その他目的

	2025年3月期		2025年9月期		増減	
	貸借対照表計上額	評価損益	貸借対照表計上額	評価損益	貸借対照表計上額	評価損益
国債	292	1	-	-	▲292	▲1
地方債	4,358	▲658	4,213	▲726	▲145	▲68
社債	4,391	▲174	3,256	▲188	▲1,134	▲13
株式	63	37	63	37	-	-
外国証券	12,054	▲583	11,133	▲376	▲920	206
投信等	6,548	▲547	6,397	▲445	▲151	101
合計	27,709	▲1,925	25,064	▲1,699	▲2,644	225

※貸借対照表計上額には、市場価格のない株式等及び出資金の帳簿価額を含めております。

満期保有目的

	2025年3月期		2025年9月期		増減	
	貸借対照表計上額	評価損益	貸借対照表計上額	評価損益	貸借対照表計上額	評価損益
地方債	15	▲1	13	▲0	▲2	▲0
社債	500	-	550	-	50	0
外国証券	3,195	▲339	3,095	▲379	▲99	▲40
合計	3,711	▲340	3,659	▲380	▲52	▲40

Instagramによる情報発信に取り組んでいます

トピックス

当金庫の活動を多くの人に知っていただくため、2つのInstagram(インスタグラム)を運営しております。

石見地域の魅力を発信することを目的に運営する地域発信アカウントでは、当金庫のことだけでなく地域のお店やイベント、おすすめスポット等を紹介しております。

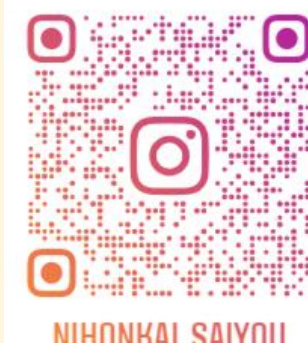
就職活動中の学生向けに運営する職員採用アカウントでは、職員や仕事内容、福利厚生等を紹介しております。

地域発信アカウント



NIHONKAI.SHINKIN
【地域発信アカウント】

職員採用アカウント



NIHONKAI_SAIYOU
【職員採用アカウント】



【ホームページ】

<https://nihonkaishinkin.co.jp/>

相続預金「かぐらプラチナム」取扱い開始

相続によって取得された大切なご預金の運用をお手伝いするべく、特別金利の定期預金をご用意いたしました。地域経済の発展のため、引き続き地域内で資金の循環に努めてまいります。

◆相続による資金をお受取りになられた方専用の定期預金です◆

相続専用定期預金

『かぐらプラチナム』

【適用金利】

令和7年10月1日現在

期間 : 3年・5年	店頭表示金利 + 年 0.50%
期間 : 1年	店頭表示金利 + 年 0.25%

「つなぐ経営塾」第12期始動

後継経営者育成塾（旧「せがれ塾」）は昨年11月で20周年を迎えました。近年は女性後継者の参加も増加しており、節目を迎えたこのタイミングで名称を「つなぐ経営塾」へ変更し、新たなスタートを切りました。

